

# 衛生化学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Morimoto A, Takasugi N, Pan Y, Kubota S, Dohmae N, Abiko Y, Uchida K, Kumagai Y, Uehara T: Methyl vinyl ketone and its analogs covalently modify PI3K and alter physiological functions by inhibiting PI3K signaling. *Journal of Biological Chemistry* 300(3): 105679, 2024. doi: 10.1016/j.jbc.2024.105679.
2. Matsuo K, Yamano S, Toriba A, Matsusue K, Kumagai Y, Abiko Y: Activation of Akt-cAMP response element-binding protein (CREB) signaling as an adaptive response to an electrophilic metabolite of morphine. *Fundamental Toxicological Sciences* 11(2): 79-85, 2024. doi: 10.2131/fts.11.79.
3. Pham CT, Nghiem TD, Le HT, Chu HD, Viet TT, Sekiguchi K, Tang N, Hayakawa K, Toriba A: Size distribution of airborne particle-bound polycyclic aromatic hydrocarbons during rice straw open burning in Hanoi, Vietnam. *Atmospheric Pollution Research* 15(6): 102115, 2024. doi: 10.1016/j.apr.2024.102115.
4. Shiratsuchi A, Kidoura Y, Toriba A, Nakanishi Y, Nainu F: Effects of tobacco smoke on the expression of virulence genes in *Escherichia coli*. *Narra J* 4(1): e754, 2024. doi: 10.52225/narra.v4i1.754.
5. Amin M, Aun S, Chanmoly Or C, Hata M, Phairuang W, Toriba A, Furuuchi M: Characterization of carbonaceous components and PAHs on ultrafine particles in Phnom Penh, Cambodia. *Environmental Monitoring and Assessment* 196(10): 895, 2024. doi: 10.1007/s10661-024-13045-8.
6. Fuchigami T, Mya M, Tun N, Tanahara Y, Nishi K, Yoshida S, Ogawa K, Nakayama M, Hayasaka D: Development of <sup>111</sup>In-Labeled Monoclonal Antibodies Targeting SFTSV Structural Proteins for Molecular Imaging of SFTS Infectious Diseases by SPECT. *Molecules* 30(1): 38, 2025. doi: 10.3390/molecules30010038.
7. Fuchigami T, Nakayama T, Miyanari Y, Nozaki I, Ishikawa N, Tagawa A, Yoshida S, Munekane M, Nakayama M, Ogawa K: Peptide-Based Turn-On Fluorescent Probes for Highly Specific Detection of Survivin Protein in the Cancer Cells. *Chemical and Biomedical Imaging* 2: 374-383, 2024. doi: 10.1021/cbmi.4c00017.

#### A-b

1. Kumagai Y, Abiko Y, Akiyama M, Unoki T, Shinkai Y: Multi-defense pathways against electrophiles through adduct formation by low molecular weight substances with sulfur atoms. *Toxicological Sciences* 203(1): 1-10, 2025. doi: 10.1093/toxsci/kfae132.

### B 邦文

#### B-c-1

1. 古川彩夏, BOONGLA Yaowatat, CHETIYANUKORNKUL Thaneeya, 吉田さくら, 安孫子ユミ, 鳥羽 陽: 室内バイオマス燃焼に由来する微小粒子状物質に含まれる多環芳香族炭化水素類の分析. *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
2. 鳥羽 陽, 吉岡 響, 吉田さくら, 安孫子ユミ, 戸次加奈江, 稲葉洋平: 電子たばこ製品の主流煙に含まれる多環芳香族炭化水素キノロン類の定量. *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
3. 香川(田中)聡子, 森 葉子, 田原麻衣子, 大河原晋, 磯部隆史, 大貫 文, 鈴木 浩, 鳥羽 陽, 中島大介, 藤森英治, 埴岡伸光, 酒井信夫, 神野透人: 空気試験法: 総揮発性有機化合物(新規). *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
4. 稲葉洋平, 磯部秀太, 飯島健太郎, 戸次加奈江, 鳥羽 陽, 内山茂久, 牛山 明: 加熱式たばこ互換機の主流煙に含まれる多環芳香族炭化水素の分析. *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
5. 吉田さくら, 黒岩多恵, 安孫子ユミ, 淵上剛志, 鳥羽 陽, 原 武衛: セレノトリスルフィドに対するミオグロビン中遊離チオール基の反応性. *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
6. 大貫 文, 田原麻衣子, 酒井信夫, 高木規峰野, 田中礼子, 村木沙織, 斎藤育江, 千葉真弘, 大泉詩織, 大野浩之, 若山貴成, 鈴木 浩, 鳥羽 陽, 中島大介, 藤森英治, 香川(田中)聡子, 神野透人: 空気試験法: フタル酸ジ-n-ブチルおよびフタル酸ジ-2-エチルヘキシル 固相吸着-加熱脱離-ガスクロマトグラフィー/質量分析法による定量(新規). *日本薬学会年会要旨集(Web)* 144th: 2024.
7. 吉田翔太, 張紅 燕, 本田保之, 吉田さくら, 安孫子ユミ, 鳥羽 陽: 二酸化炭素超臨界流体抽出-LC-MS/MSを用いた植物試料中のマイコトキシン分析法の開発とハンセンの溶解度パラメータを用いた抽出寄与パラメータの解析. *日本分析化学会第73年会*: 2024.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	0	0	1	2	7

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
鳥羽 陽・教授	評議員	日本環境化学会
鳥羽 陽・教授	長崎県公害審査委員	長崎県
鳥羽 陽・教授	幹事	日本分析化学会九州支部
鳥羽 陽・教授	衛生試験法編集委員	日本薬学会
安孫子ユミ・准教授	常任幹事	日本毒性学会付加体科学部会
安孫子ユミ・准教授	評議員	日本毒性学会
安孫子ユミ・准教授	学術誌編集委員	日本薬学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
鳥羽 陽・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「大気粒子による酸化・親電子性ストレスの同時計測法を用いた毒性評価と寄与物質の同定」
鳥羽 陽・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「新たな分子プローブ法によるタイヤ摩耗粉じん由来の親電子二次生成物質の探索」
鳥羽 陽・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「大気粉塵及び表層土壌のエピジェネティクス誘発活性の季節変動、地域特性及び粒径分布」
鳥羽 陽・教授	公益財団法人 鉄鋼環境基金	代表	2024年度環境助成研究（一般研究助成）「大気粒子中の親電子物質を探索するための分子プローブ法の開発」
安孫子ユミ・准教授	一般社団法人アズビル山武財団	代表	研究助成金（奨学金）「タイヤ滓に含まれる6 PPD-キノンの生物学的影響評価」
安孫子ユミ・准教授	戸部眞紀財団	代表	研究助成 「香気成分カルボンによる酸化ストレスの軽減」
安孫子ユミ・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「大気中芳香族炭化水素キノンの限定エクスポームを鑑みた複合曝露影響の検討」
安孫子ユミ・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「新たな分子プローブ法によるタイヤ摩耗粉じん由来の親電子二次生成物質の探索」
鳥羽 陽・教授	クラシエ製薬株式会社	生薬及び漢方処方エキスのマイコトキシン分析に関する共同研究	

## 特 許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
鳥羽 陽・教授	環境汚染物質の人体曝露評価方法	2006年3月23日	2012年2月1日	特許4866983

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
安孫子ユミ・准教授	非常勤講師（医療科学概論）	筑波大学医学群医療科学類
安孫子ユミ・准教授	非常勤講師（地球規模課題と国際社会：環境汚染と健康影響）	筑波大学大学院国際連携食料健康科学専攻